



# 木更津高専だより

2020

89号

September



## Contents

校長挨拶 .....	1
新任副校長挨拶、転入教員紹介 .....	2~3
新任教員紹介、内地研究終了報告 .....	4~5
新入留学生紹介、国際寮新設 .....	6
お知らせ .....	7

## 校長 佐久間 研二

本年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、3月の卒業式・修了式、4月の入学式を中止せざるを得なくなりました。卒業生、修了生、新入生の皆さんの節目の儀式を執り行うことができず大変残念に思っています。緊急事態宣言が出される中、授業についても通常の授業を行うことができないため、4月早々、遠隔授業を導入することとしました。「遠隔授業実施ワーキンググループ」を立ち上げ1か月で遠隔授業の枠組みを構築しました。短期間に全く新しい教育方法を構築することは容易なことではありませんが、それを実現出来てしまう本校教員の熱意とレベルの高さを痛感し誇りに思っています。5月の連休明けから、遠隔授業を実施していますが、新しい教育方法にすぐに順応してくれた学生の皆さんに対しても、高専生の優秀さを再認識しました。緊急事態宣言が解除され、7月6日からは週一回の分散登校を実施し、ホームルームや実験実習科目等の授業を行っています。特に新入生については、待ちに待った新しいクラスメイトに会うことができ、週一日ですが楽しく過ごしてもらいたいと思います。課外活動も色々と制約がありますが徐々に出来るようになりました。キャンパス内に学生の元気な声が聞こえるようになりホッとしています。



学生寮については、3密を避ける観点から、前期については閉寮とし、後期については人数を絞ったの開寮(週一回の分散登校)の予定です。特に雄峰寮については、今年度と来年度の2年間にわたり改修工事を予定しており、入居可能人数を絞らなければならなかったことに加え、感染拡大防止の観点から二人部屋を一人部屋とすることとしたため、更に入居可能人数が少なくなりました。入寮希望の学生・保護者の皆様には御迷惑をお掛けしますが、皆様の安心・安全を最優先に考えた措置であるため御理解、御協力を賜ればと思います。

今回のコロナ禍を契機に、本校は遠隔授業という新たなオプションを手に入れました。地震・台風等の災害で通学できない場合や病気や怪我で入院した場合等でも遠隔授業で学びが継続できます。日本に入国できない留学生も自国で授業が受けられます。今後とも通常授業と遠隔授業を上手く組み合わせ、学生の多様な学びの機会を提供していきたいと思っております。引き続き、皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

### 教務主事 岡本 保(電気電子工学科 教授)

今年度より教務主事を務めることになりました電気電子工学科の岡本保です。よろしくお願いいたします。

カリキュラムなどについてさまざまな改革が求められる時期に就任しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、遠隔授業の対応にあたることになりました。今回の感染症拡大防止のための外出自粛をきっかけとして、高専・大学では遠隔授業が推進され、テレワークは標準的な働き方になっていくと考えられます。今回の件は木更津高専での遠隔授業の導入のきっかけになったと前向きに捉えたいと思います。今年度からスタートした遠隔授業ですが、まだ改善すべきことが多くあると思いますので、引き続き改善に努めてまいります。遠隔授業では対面授業の場合に比べて、より主体的に学習に取り組まなくてはなりません。自ら学ぶ姿勢があるかないかで大きな差がつくと思います。学生の皆さんにはそのことを是非心がけてほしいと思います。

教務主事は主として教務分野の担当ですが、研究推進、部活動の活性化も木更津高専では重要だと考えています。教務主事は激務と聞いていますが、自分自身の研究と部活動指導のパフォーマンスを落とさずに務めたいと考えています。



### 副校長(総務担当) 鈴木 聡(電子制御工学科 教授)

4月に総務担当副校長に就任いたしました。いきなり私事で恐縮ですが、役職の関係でしばらく担任がなかったので、定年退職までの2年間は学級担任をして学生と楽しく過ごそうと考えていました。ところが諸般の事情で総務担当の副校長を仰せつかりましたので、少し戸惑っています。ただし、学生にとっては老害を受けず、かえって良かったかも知れません。

総務担当副校長の役割は、広報・企画委員会の運営と国際交流センターの所掌が主なものです。今年度の広報活動として、対岸の川崎、横浜方面の受験者を増やす動きをしようと、広報・企画委員会メンバーを刷新したところですが、新型コロナ感染の影響で頓挫しています。国際交流活動に関しても、海外との往来に規制がかかっているため、思うような活動ができません。唯一残された活動である広報誌「木更津高専だより」の編集についても、学校行事や部活の大会がなく、編集記事が少ない状況です。

それでは何もやってないじゃないかとお叱りを受けそうですが、コロナ禍でオープンキャンパスが開催できないので、その代わりにバーチャルオープンキャンパスのようなWebコンテンツの制作を新たに予定しています。これについては、ワーキンググループを立ち上げ、構想を練りはじめています。また、国際交流に関しても、新設される国際寮の運営方針を議論するワーキンググループを立ち上げたところです。

諸活動に関して、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## 地域共同テクノセンター長 青木 優介(環境都市工学科 教授)

地域共同テクノセンターとは、地域と高専との連携活動を担う組織で、全国にある高専のほとんどに設置されております。木更津高専にも設置されていまして、今年度から、センター長を務めさせていただくことになりました。

地域との連携活動にも幅広くございます。小中学生を対象とした科学教室、企業様との共同研究、はたまた、学生と企業様との橋渡しイベントなどなど。ただ、これら活動の多くは、実際に活動を担当する、また、その窓口役となるエネルギーギッシュな教職員の方々と、それを支援する優秀な学生たちの献身で成り立っております。センター長としての役割は、その方々が笑顔で活動を続けられる環境を整えていくことに尽きると考えております。

新型コロナウイルスの影響により、わたしたちの生活にも様々な変化が求められております。木更津高専も、そして、地域との連携活動も例外ではありません。そんな折、住居前の空き地にふと目を留めると、ある雑草が繁茂しておりました。綺麗な花が咲くわけでもない、どこにでもあるその雑草は、風に吹かれても、ただ、さらさらとなびくだけ。そんな彼からは、「適応こそ、答えだよ」と教えられた気がしています。「適応」を大切に、なんとかこの役を務め上げたいと思っております。



## ● 転入教員紹介

### 人文学系 准教授 加田 謙一郎

本年4月、山形県の鶴岡高専から、人文学系(国語)へ人事交流で転任して参りました加田謙一郎です。千葉県出身で、7歳まで千葉県民でした。その後、神奈川県2年間、東京都16年間、鶴岡高専に就職してから山形県で28年間(内1年間は人事交流で山口県徳山高専)過ごしてきました。

この度、家族の介護のため申請した人事交流(同居プログラム)を認めていただき、ほぼ半世紀ぶりに千葉県に帰ってきました。受け入れてくださった木更津高専には深く感謝いたしております。専門は国文学と国語教育です。ここ10数年は、野中勉元鶴岡高専校長の指揮の下、論理的思考能力の育成を主眼とした「国語コミュニケーションスキル教育」に腐心してきました。その際、多くの専門教科の先生方と連携させていただき、「高専の学生にとって本当に必要な国語力とは何か?」という問いかけを常に念頭におき、試行錯誤を繰り返しました。

木更津高専でも、新たな気持ちで、改めて「国語」教育について、学生の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

趣味は、温泉巡りです。温泉でリフレッシュしながら、教育と研究、そして介護に励んでいきたいと存じます。なにとぞよろしくお願いいたします。



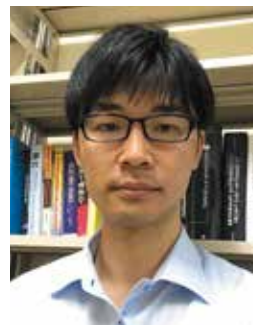
## ● 新任教員紹介

### 基礎学系 講師 平井 隼人

今年度より基礎学系(数学)に着任致しました。専門は素粒子や重力に関する物理学の理論です。

数学や物理学と聞くと、「公式をたくさん覚えて難しい計算をするつらい学問」と感じている方もいるかも知れません。実は私も学生の頃は数学や物理があまり得意ではありませんでした。しかし、今では「私達のいる世界に対する根本的な見方や考え方を変えられる」ことに魅力を感じ、研究を行っています。例えば、地球は公転をしていますが、アインシュタインの理論を学ぶと「時間や空間はトランポリンのように柔らかいもので、太陽の重さで空間がぐにゃりと曲がり、その上を地球が転がっている」という新しい見方ができます。この見方は数学の1つの方程式で表され、初めて理解できたとき感動したことを覚えています。(今では生活に不可欠なGPSの原理に使われています。)

このように私が感じている数学・物理の面白さを若い方々と共有したいと思い本校教員になりました。授業では基礎学力だけでなく、皆さんの疑問を大事にしながら、数学の面白さ、応用例などを共有できたらと思っています。授業以外の面でも皆さんが楽しい高専生活を送れるように微力ながらサポートさせていただきます。どうぞ宜しくお願いします。



### 電気電子工学科 助教 小原 翔馬

今年度より電気電子工学科に助教として着任致しました小原 翔馬と申します。

私は主にカオスをはじめとする非線形科学に関する研究を行っております。非線形科学はカオス現象における学術的基礎研究としてのみならず、状態が有する非線形性および複雑性を活用して、機械学習などのダイナミカルな情報処理への技術応用も期待されている分野です。また、カオスは電気電子工学のみならず、物理学、生物学、社会科学等の自然科学分野全体で見られる現象であり、近年、急速に発展している分野です。

木更津高専は全国の高専の中でもとりわけ首都圏から近く、多くの大学や民間企業とのアクセスも良いため、学生にとって非常に多くの成長できる機会を有していると思っております。学生には海沿いの自然豊かな伝統的風土と最先端の研究教育環境の両輪を活用して頂き、国内のみならず世界的に第一線で活躍できる技術者になって頂きたく存じます。また、本校での集団生活を通して生涯の財産となるような友人や教員との交流等、充実した学生生活への一助になれば幸いです。

そのために私も少しでも寄与できるよう励んで参りたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



## ● 新任教員紹介

### 情報工学科 助教 能城 沙織

令和2年4月に本校に着任いたしました。専門は人間行動学です。ヒトの行動の「なぜ？」を、理論的、実証的に検証することを目指しています。

本校に着任する前は、企業に計6年弱勤めていました。システム開発やデータ解析を業務として情報工学の知識、技術を学びながら、企業で働くことのやりがい、厳しさなどを実体験として学んできました。高専の皆さんは就職、進学、研究と、多くの選択肢を持っています。例えば進路に悩んだとき、私自身のそういった経験が少しでも皆さんの助けになればいいなと思っています。

私にとってここ木更津はほぼ地元です。高校生まで千葉県で過ごしました。大学以降数年間は千葉を出ていましたが、今大人になって思うのは、やはり生まれ育ったこの地がすごく好きだなということです。私自身の10代後半は、部活(陸上部で長距離を走っていました)、学業に全精力を注いでいました。それを可能とするエネルギーがあるのはこの世代の特権だと思っています。そんな皆さんと研究、部活、進路、全てを一緒に頑張っていける、しかも大好きな地元で…夢のような職場だと感じています。これからどんなことをやっていけるのか、とても楽しみです。



## 内地研究終了報告

### 基礎学系 准教授 佐野 照和

2019年5月から2020年2月末までの10ヶ月にわたり、内地研究員として横浜国立大学で研究をする機会をいただきました。その「国大」には、私の専門分野の研究拠点が設置され、研究者や大学院生が活発に研究しています。

さて、私が研究しているのは数学のグラフ理論という分野で、ネットワーク構造(数学では単に「グラフ」といいます)の性質が主な研究テーマです。グラフの性質の中でも、平面性が象徴的な「位相幾何学的な性質」に興味を持っています。

期間中は、位相幾何学的グラフ理論の研究を進めることに並行して、グラフの構造を調べたり不変量を計算したりするためのプログラムについて、苦心しながらも腰を据えてコツコツ書き進めることができました。それ以外にも、これまで興味はあったもののなかなか取り組めなかった研究テーマや、その他には、定理証明ソフトウェアについても勉強することができました。いま振り返ると、様々な面で勉強の時間が多かったように思います。また、国大の位相幾何学的グラフ理論研究拠点の皆さんの取り組みを目の当たりにしたことも勉強になり、刺激を受けました。

関係する方々のご協力により内地研究の機会をいただいたことに、あらためて感謝いたします。ありがとうございました。

## 新入留学生紹介



MUHAMMAD ASYRAF BIN  
JAFER SADIG

電子制御工学科3年のアシュラフです。マレーシア政府から奨学金をもらった留学生です。

趣味は小説を読むことと音楽を聞くことです。いつか、人を助ける素晴らしいエンジニアになりたいです。その夢を叶えるために、最後まで頑張ります。毎日、色々なことを習って、色々な人と出会いたいです。皆、これからも宜しくお願いします！



SIV CHENDA

情報工学科3年のチェンダです。カンボジアから来ました。趣味は旅行することです。世界中を旅して、その国の文化や有名な場所を色々知ることが好きです。日本に来てから今まで1年ぐらいたったが、東京の観光地だけに行きました。私の夢は国の空港を発展させることです。国の空港がまだ発展していないので、日本で勉強した知識を国に持って、空港の制御システムやネットワークなどを発展させたいです。日本に留学している間にたくさんの技術を身につけたり、日本人の友達を作ったりしたいと思います。よろしくお願いします。



AFIF HAKIMI BIN AZHAR

環境都市工学科3年のアフィフです。マレーシアから来ました。2年間日本語を勉強して、日本語はまだ下手です。日本語を練習するために、もっと日本語で会話したいです。

私の趣味はコンピューターゲームをすることです。前はラグビーをやったこともあります。先生方とクラスメートがいつも私の面倒を見てくれて、感謝します。

私の夢は、マレーシアのために、いいエンジニアになることです。そして、日本の文化と食べ物いろいろなことを体験したいと思います。

これから全力で頑張ります。よろしくお願いします。

## 国際寮新設

### 国際寮運営ワーキンググループ 座長 鈴木 聡(電子制御工学科 教授)

今年度に国際寮が新設されます。昨年度の国の補正予算で建設されるもので、新聞等でも報道されたため、すでに知っている方も多いかと思います。全国で17校の高専に予算が付きまして。今回新設される国際寮は、全国の高専で統一された設計であり、同じ環境で留学生を受け入れ、混住型の寮で留学生と日本人寮生が同じ空間で生活します。これにより国際的な視野を持つ実践的で創造性のある技術者の育成を目的とします。

構造は鉄筋コンクリート造3階建てで、延べ床面積は約1500㎡を予定しています。各階に「ユニット」と呼ばれる複数の個別スペースを設け、このユニットを単位にして留学生と日本人に混住してもらいます。ユニットの数は、1階2つ、2、3階は4つずつ、計10個のユニットがあります。ユニットはセキュリティ上完全に独立しており、顔認証により自分のユニットにしか入れません。各ユニットには6～7の個室があり、全体で68の個室があります。

施設面は高専機構の方で統一的设计をしますので、ワーキンググループではこれから運営面の検討をしていく予定です。



# お知らせ

## 教職員紹介 ※敬称略

### 【採用・転入】

- (採用)4月1日 平井 隼人(基礎学系 講師)  
 小原 翔馬(電気電子工学科 助教)  
 能城 沙織(情報工学科 助教)  
 水谷 千紘(総務課総務係)  
 中田 和(総務課図書・情報係)  
 小澤 勇太(教育研究支援センター技術職員)
- 6月1日 長島 幸恵(総務課経理係)
- 7月1日 川名 麻紀(教育研究支援センター技術職員)
- (転入)4月1日 加田 謙一郎(人文学系 准教授) ◀ 鶴岡高専  
 堤野 昌志(総務課図書・情報係長) ◀ 千葉大学  
 渡邊 文彦(総務課施設係長) ◀ 千葉大学

### 【退職・転出】

- (転出)3月31日 原田 慎二(総務課施設係長) ▶ 千葉大学  
 黒川 勝雄(総務課図書・情報係長) ▶ 千葉大学
- (退職)2月29日 紺野 和幸(総務課図書・情報係)
- 3月31日 大澤 寛(電気電子工学科 教授)  
 小藤田 淳(学生課学寮・保健系主任)  
 今村 進(教育研究支援センター技術専門員)  
 原 英毅(業務支援室)  
 渡邊 孝一(情報工学科 准教授)  
 倉橋 太志(基礎学系 講師)  
 倉部 美彩子(教育研究支援センター技術専門職員)

## 行事予定 後期

(令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大幅に変更または中止となります。)

- 10/1(休) 後期授業開始
- 10/10(土)～11(日) プログラミングコンテスト(オンライン)
- 10/26(月)～11/1(日) 保護者個別懇談会
- 11/8(日) ロボットコンテスト関東甲信越地区大会(オンライン)
- 11月初旬 地区英語弁論大会(DVD審査)
- 11/23(月) 月曜授業(勤労感謝の日)
- 11/29(日) ロボットコンテスト全国大会(オンライン)
- 12/5(土) 大学説明会(オンライン)
- 12/16(水) 大学院説明会(オンライン)
- 12/24(木)～1/5(火) 冬季休業
- 1/19(火)～22(金) 推薦入試に伴う休業日
- 1/20(水) 推薦入学者選抜
- 1/22(金) 専攻科特別研究発表会
- 2/5(金)～12(金) 後期末試験
- 2/15(月)～19(金) 補講期間
- 2/19(金) 終業式
- 2/21(日) 学力入学者選抜
- 2/22(月) 学力入試に伴う休業日
- 2/24(水)～26(金) 補講期間、卒業研究発表
- 2/27(土)～3/31(水) 学年末休業
- 3/13(土) 進路懇談会(4年、専攻科)、会社説明会
- 3/19(金) 卒業式・修了式

<名誉教授> 令和2年4月1日授与 ※敬称略

大澤 寛 (電気電子工学科 教授)

## 保健室より



- 今年、風邪やインフルエンザ、そしてノロウイルスによる感染性胃腸炎に加え、新型コロナウイルス感染症に注意が必要です。「新しい生活様式」を取り入れ健康な日常生活を送りましょう。感染症予防の基本は、正しい手洗いです。石鹸をよく泡立てて、トイレの後、食事の前、調理の前後、外出から帰宅した時など、忘れずに行うようにしましょう。新型コロナウイルス感染症対策指針【保護者・学生】第1版の確認を再度お願いいたします。
  - 十分な休養と栄養補給、うがい、マスクの着用、咳エチケットを心がけましょう。
  - 体調が悪い時には登校を控え、医療機関で診察を受けてください。新型コロナウイルス、インフルエンザ等、感染症に感染している、またはその疑いがあると診断された場合は、公欠(要診断書等)になります。この場合は、必ず学校(木更津高専学生課0438-30-4038)に連絡をお願いします。
- インフルエンザの予防にはワクチンが有効です。  
 ※今年度は分散登校のため、学校でのインフルエンザ予防接種については、10/20火に寮生・5年生・専攻科生のみの実施予定です。

## 学生相談室より

学生相談室(講義棟A1階 保健室隣)は、皆さん一人一人が充実した学生生活を送れるようにサポートしていくところです。相談内容については固く秘密を守りますので安心してください。保護者の方の相談にも対応いたします。

### ☆学生相談室スタッフ

- ・学生相談室長：山下 哲(基礎学系・数学)  
電話：0438-30-4072
- ・保健室の看護師：田村 真弓・森野 加奈・鶴岡 宏美  
電話：0438-30-4036 / soudan@a.kisarazu.ac.jp
- ・学外のカウンセラー(臨床心理士)：  
愛甲 修子先生、水口 勲先生、坂本 容子先生

### ※今年からカウンセラーの先生が増えました!先生方から一言

水口先生: 学校生活で困ったことや気になることなどがあれば、一人で抱え込まずにぜひご相談ください。  
 坂本先生: 年齢的にも色々とお悩みの時期かと思しますので、心が少しでも元気になるように一緒に考えていけたらと思います。気軽にご相談下さい!

### ※7月から非常勤看護師が増えました!一言!

鶴岡看護師: 皆さんが安全安心に過ごせるよう保健室でお待ちしています。

### ☆カウンセリングについて

相談内容によっては、より適切な機関(専門医)への紹介も可能です。カウンセラーへの相談は予約制です。

予約は上記の保健室連絡先をお願いします。

### ☆学生相談室の感染対策について(対面時) ※ご協力よろしくをお願いします。

・相談者およびカウンセラーの検温および体調確認、マスク着用、手指消毒、アクリル板の設置

### ☆カウンセリング方法について

対面が原則ですが、相談者の希望や状況に応じて、電話、ビデオ通話、メールなどの対応可能です。

	担当カウンセラー	開室時間
月曜日	坂本 容子 先生	12時～16時
火曜日	愛甲 修子 先生	10時～17時
水曜日	水口 勲 先生	12時～17時
水曜日	愛甲 修子 先生	17時～20時
(月1回)	精神科医の先生	17時～19時
木曜日	愛甲 修子 先生	13時～17時
金曜日	愛甲 修子 先生	13時～18時



## ロボコン2020

競技課題:「だれかをハッピーにするロボットを作ってキラリ輝くパフォーマンスを自慢しちゃおうコンテスト」(はび☆ロボ自慢)

- 関東甲信越地区大会  
オンライン開催 開催日:11月 8日(日)
- 全国大会  
オンライン開催 開催日:11月29日(日)



独立行政法人国立高等専門学校機構

木更津工業高等専門学校

ホームページ <http://www.kisarazu.ac.jp/>



木更津高専だより第89号 令和2年9月発行

〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1

☎0438-30-4000